

平成24年度 播但図書館連絡協議会研究集会アンケート集計結果

平成24年12月14日（金）実施：参加者25名（アンケート提出者23名）

「パスファインダー超簡単講座

ー新しい案内ツールをどう作るかー

講師：仁上 幸治氏（帝京大学准教授）

	1 不満	2 やや 不満	3 普通	4 やや 満足	5 満足	合計	満足度
■満足度・成果・動機づけ							
Q1. 今回の研修に参加して良かったと思 いますか？ (満足度総合評価： 5点満点)	0	0	1	7	15	23	4.61
Q2. 自館（自分）でもぜひ取り入れてみ たい改善策のヒントがありましたか？	0	0	3	9	10	22	4.32
Q3. 現実的な困難を乗り越えて積極的に 実践してみようという気持ちになりまし たか？	0	1	3	9	10	23	4.22
■講義							
Q4. 説明はわかりやすかったですか？	0	1	1	3	18	23	4.43
Q5. 例は適切でしたか？	0	0	2	10	11	23	4.39
Q6. 提案は具体的で説得力がありました か？	0	1	1	8	13	23	4.43

◎参加者のデータ							
勤務先 [1. 県立 2.市町村立（本館） 3.市町 村立（分館） 4.その他（ ）]	0	16	7	0	0	23	2.30
図書館勤務経験 [1) 1～2年 2) 3年～5年 3) 6年～ 10年 4) 11年～20年 5) 21年～]	3	6	5	6	3	23	3.00

【記述欄】

Q1. 今回の講演を聴いて良かったと思いますか？印象をひとことで

- ・パスファインダーについては気になってはいたが具体的にどのようなものかが今回わかってよかったです。
- ・パスファインダーの有用性、重要度が伝わり、これを機に各館でのパスファインダー気運が上がりそうです。
- ・あいまいにしていた点も改めて確認することができ、今後に活かすことができそうです。・パスファインダーづくりに目ざめました。
- ・パスファインダーの意味と重要性を知ることができて良かったです。
- ・日々の業務の情報整理
- ・自分が思っていたパスファインダーというイメージと少し違っていた。(ただのレファレンスツールと思っていた)

Q2. 自館(自分)でもぜひ取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？具体的に

- ・地域についての問い合わせ(村・寺社・祭など)が多く、すぐに答えられないこともあるのでパスファインダーを自身の整理の為にも活用したいです。
- ・とりあえず作って、試作と銘打ってどんどん公開し、改良すればよい。
- ・基本編、ビジネスマン向けなど対象者の設定。
- ・対象者を明確にし、基本的なこと(簡単なもの)と詳細なものの区別が必要と感じました。
- ・HPの例がとても良かったです。
- ・自分でレファレンスに試用する

Q3. 現実的な困難を乗り越えて積極的に実践してみようという気持ちになりましたか？ その理由

- ・とりあえず、まずは作って出す事が重要という事が伝わったので。
- ・利用者に向けて作るものでも、図書館にとってもとても役に立つものだと思います。
- ・「試作版」を作る、を目標にしてみようと思いました。
- ・作成するための資料がたくさんいただけたので作ろうと思いました。
- ・先行の図書館を参考にしたいです。
- ・当館にはパスファインダーと呼べるものが未だないのでぜひ取り入れていきたいと思いました。

Q10. もっと詳しく聞きたかった点・じっくり討論したかった点はどういう点ですか？

- ・対象者を考えると紙媒体になるような気がする点がやや気になります。Webにあげることができるかどうか？その必要性・・・(年配者などパソコンを利用しない為)
- ・子ども向けパスファインダー
- ・館にデータベースがなく、また利用者に自由にインターネットを使っただけでない環境の場合でもパスファインダーに載せるべきかどうか知りたいです。
- ・パスファインダーの現場での活用の仕方をもっと聞きたかったです。
- ・実例をもう少しあげてほしい(時間の都合で仕方ないが)

Q11. 講師・主催者へのご要望・ご助言など

- ・また、つづきの実践、ワークショップの講座を行っていただければ、嬉しいです。
- ・実践できる気がします。お話も解りやすく、大変ためになりました。ありがとうございました。
- ・有意義な講演でした。時間がもう少し長くって頂ければ、より良かったと思いました。
- ・パスファインダーのほかにも、新しい図書館へ進化するために日々精進することの大切さを感じることができ良かった